

プログラム名 (40字以内)	台湾を知る、台湾近代史へのご招待		
団体名/所属	東京大学台湾校友会		
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	15人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	1. 台湾への好奇心があること並びにプログラム全期間を通じて参加できること。 2. 英語、または中国語の基本的な能力があること。		
活動期間	2024/9/18(水)～9/27(金)	主な活動予定場所	台湾(台北、台南、高雄、屏東)
プログラム実施の目的	<p>台湾の歴史の変遷を理解し、時間の流れに沿って各地の歴史的なスポットを訪れ、台湾の近代史に対する理解を深めること。</p> <p>今回のプログラムの予定では、10日間のうち主に北部と南部で活動し、台湾の歴史を体感します。文字記録のない先住民時代から始まり、大航海時代における各海洋勢力の占領と統治、鄭氏の敗退後の清の支配時代、日本統治初期の日本人と原住民との衝突、後期には台湾に残された重要な建設と多くの日本人が台湾に定住した歴史、そして第二次世界大戦後、中華民国による台湾統治時の恐怖政治と民族間の衝突に至ります。</p> <p>台湾の統治者の変遷は以下の通りです： ～1624年：先住民社会 1624年～1661年：オランダとスペイン(一部地域、島全体ではない) 1661年～1683年：鄭氏(島全体ではない) 1683年～1895年：清(島全体ではない) 1895年～1945年：日本(島全体) 1945年～現在：中華民国(台湾)</p> <p>以上の歴史的概要から、台湾の歴史は長いものではありませんが、民族構成が複雑で、統治者の権力も複雑に絡み合っています。過去の歴史は民族間、異なる統治者間の衝突に満ち、現在でも台湾の島内には多くの歴史的遺跡が残り、台湾の華やかな文化に影響を与えています。</p> <p>日本と台湾は地理的に近く、深い歴史的結びつきがあります。若い世代に台湾の歴史の発展を深く理解させ、異なる歴史的文脈から生まれた現代台湾の文化を実地で体験させるため、このプログラムを提案いたしました。</p>		
具体的な内容(800字程度)	<p>＜おおよそのスケジュール(一部変更可能性あり)＞0日目：台湾入国 一日目(台北近郊)： - 二二八事件博物館(原住民に関連) - 淡水紅毛城(オランダの歴史に関連) - 滬尾砲台(清法戦争) - 真理大学(台湾最初の西洋教育機関)</p> <p>二日目(台北から高雄へ)： - 高雄歴史博物館 - 英國領事館 - 時間が許せば、高雄の日本人影響塔を訪問</p> <p>三日目(高雄から屏東へ)： - 日本の台湾出兵事件について紹介(台湾が世界史に組み込まれた起点) - 高雄へ戻る</p> <p>四日目(高雄から台南へ)： - 清代の基礎建設 - 日本時代の糖工場(当時の台湾の主要産業と国際貿易の中心) - 荷属時代の赤崁楼 - 鄭成功寺(鄭氏時代の拓展、母親は熊本出身、長崎平戸市生まれ)</p> <p>五日目： - 台南南内から鳥山頭水庫へ - 八田與一による建設、日本時代の台湾最大の基礎建設 - 台北へ戻る</p> <p>六日目(台北市内)： - 228事件記念館 - 台湾国史館 - 中正記念堂(蔣介石の記念施設) - 台湾大学(当時の台北帝國大学)</p> <p>七日目(台北市内)： - 景美人権園区(戦後の国民党独裁時期から民主化社会までに関連) - 台北最初の水道基礎建設</p> <p>八日目(台北近郊)： - 基隆、九份、金瓜石：清朝後期から日本時代までの台湾の鉱業の歴史進化と日本との関連(例えば、当時多くの鉱山労働者は從業島から来ました。) - 最終日：日本へ帰国</p>		
【総額】参加するための費用	165,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	55,000円。ツインルーム～4人部屋を予定、朝食込み。		
【内訳】参加するための費用(交通費)	航空運賃(実費)を除き60,000円。		
【内訳】参加するための費用(その他)	その他：通訳、乗添員、スポット入場料、食事(約7日のランチ)、保険料		
奨励金額(予定)	40,000円		
備考	<p>①ハーバード大学東アジア言語文化研究科の涂豐恩(Tu Feng-En)博士から、英語による台湾史のオリエンテーションを事前に実施します。また、台湾史に関する資料は、入国前に日本語版の参考資料として参加者に電子ファイルで提供する予定です。</p> <p>②いずれかの日に東京大学台湾校友会との懇親会を開催する予定です。 何かご不明点がございましたら、info@sourcing-taiwan.com(日本語OK)までご連絡ください。</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	<a href="#">特になし</a>		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	<a href="http://today-alumni.tw/">http://today-alumni.tw/</a>		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		